

10. 園児たちを無事帰し、保育室に泊まりました

Y. K. 27歳 幼稚園教諭 北区在住

- どこに誰といましたか。

職場である東京・山の手にある幼稚園にいました。室内にいたので、出口に園児を集め、いったん揺れがおさまったときにロビーに避難しました。その後、頭巾を園児たちに被らせました。職員で分担し、避難のために集まった子の傍にいる者、室内を点検する者に分られました。延長保育の申し込みをしていた家に電話をして、迎えを頼みました。園内をくまなくチェックしましたが、落ちた物、壊れた物はありませんでした。

園児は年長、年中、年少、で50人くらい。一部が延長保育です。職員は、常勤・非常勤を合わせて15人の規模です。当時は、年長・年中はちょうどお帰りの時間でお迎えが集まって来ていました。その後、年長・年中・年少の延長保育児が残りました。通常は、室内が17時まで、課外活動が18時までやっていて、土曜日は休園です。

- 園児は無事に帰りましたか。

基本的に近所なのでおおかたは徒歩か自転車で引き取りに来ましたが、両親が働いていて交通が遮断されている場合もあり大変でした。18時に最後の1人を見送りましたが、近隣の私立小学校や幼稚園では、22時とか夜中まで預かったという話。

- どのように自宅に帰りましたか。

すべてすべきことを終えて、当然、電車が動いていないことがわかっていたので、その日、帰れない職員5人は園の保育室に泊まり、翌日、昼ごろ電車で帰宅しました。幼稚園なので、床暖のきいた保育室にマットを敷き、その上に常備してある布団をかけてぐっすり眠れました。父と兄も職場に泊まり、木造2階建の家には母一人でした。

- 最後にひとこと。

常に、コンタクトなどの日用品やアメやチョコなどの食品を持ち歩こうと思いました。

2011年6月23日